



【討議資料】

【新市立高校の再編・統合について②】

川口市では、輝かしい歴史と伝統を持つ市立高等学校3校 川口総合高等学校、市立川口高等学校、県陽高等学校を 1校に再編・統合し、市民から誇りと憧れをもたれるような 魅力ある新校の設立に向けて取り組んでいます。

2011年12月および2013年6月議会一般質問において新市立高校について取り上げました

2011年12月議会要旨

【Q】現在ある文化・スポーツ特別選抜制度の成果と照らし合わせどの様な方策が検討されているのか。

【A】平成20年度より実施している文化・スポーツ特別選抜による入学者は各分野において県大会や関東大会、全国大会等々で活躍している。新校基本計画検討委員会でも、「制度として非常に有効」、「文化スポーツ振興は継続すべき」との意見が多数あることから、本制度の成果を踏まえながら大いに議論を深め、夢と希望にあふれ地域に愛される文武両道の学校づくりに努める。

【Q】理数科設置について

【A】川口市立高等学校あり方審議会答申では、国土や資源の乏しい我が国においては、科学技術の開発により新たな産業を創出する必要があることが述べられている。新校では、科学技術や理科、数学などの自然科学分野の知識や技術を習得させるとともに、実験やフィールドワークなどの豊富な体験活動を重視した教育活動を展開すべきとの議論がなされているところであります。

2013年6月議会要旨

【Q】新校の基本理念において、全日制では、文武両道に優れ、徳力を備えた地域社会のリーダーとなる人材、科学技術創造立国である我が国をリードする人材を育成する学校となる。このためには地域資産を生かした授業を導入すべきと考えるが、どのように生かし、取り入れていくのか。

【A】本市の地域資産であるSKIPシティや市立科学館を映像教育や理数教育のために積極的に利活用することを考えている。加えて、新市立高校において、鑄物や植木などに代表される本市の伝統産業にも触れる機会をつくるなど、将来を担う人材の育成に鋭意努める。



前田亜希からみなさまへ



前回に引き続き、平成30年度開校予定の新市立高校について取り上げました。

他にも大きなプロジェクトを抱えている本市ですが、その中でも新市立高校については子どもたちの未来にかかる特に大きな案件であると考えています。

なお、本文でも取り上げていますが、新校の目玉の一つに理数科の設置が挙げられます。私が学校へ通っていた

時代から「子どもの理科離れ」と言われていますが、優れた指導者と興味を持つ仕掛けさえあれば、子どもは決して理科が嫌いなわけではないのではないかと私は考えています。この理数科設置と関連し、次回は科学館に関する報告をさせていただきます。

子育てに関する悩みや不安は

川口市子育て相談課 家庭児童相談室

直通電話：048-259-9005 または 048-257-3330 (月～金 8:30 - 17:15)



市政全般について、あなたの声をお聞かせください

お名前	フリガナ	
ご住所	〒	
ご連絡先	電話番号	FAX
	携帯番号	E-mail



前田 あき プロフィール

- 昭和55年3月17日生まれ 34歳
- 日本大学文理学部心理学科
心理学専攻 博士前期課程 修了
- 明治大学大学院ガバナンス研究科
ガバナンス専攻 修了
- 自民党埼玉政治学院 1・2期生
- TOKYO 自民党政経塾
専門政治コース 4・5期生
- 平成23年 川口市議会議員初当選
- 建設常任委員
- 危機管理対策・庁舎整備等特別委員

ご意見・ご感想募集中

【みなさまと一緒に子育て・教育で最高の川口市を創り上げるために】
子供も大人も一人一人が輝き、夢を持ち自分に自信を持って成長できる川口市にしたい。そのためにも人と人の知恵を繋ぎ、今ある資源を最大限に活かし、未来へと希望が持てるまちになるように前田あきは全力で頑張ります。しかし、議員一人の力では限界があります。街について皆様が気づいたことや市政に対するご意見等、些細なことでも結構ですので、お知らせいただければ幸いです。下記にまでご連絡ください。

FAX 050-3488-7635

E-mail mail.akimaeda@gmail.com

公式ホームページ

http://akimaeda.jp



携帯からも
ご覧いただけます